

- 問1 室町時代に禅宗寺院の様式を武家の住居に取り入れたことで成立し、床の間や障子、部屋全体に敷きつめられた畳などが特徴である建築様式を何といいますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 寝殿造 2. 書院造 3. 校倉造 4. 合掌造
- 問2 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものと正しいものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。 2. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために將軍直属の密偵としての役割を担った。 3. 將軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。 4. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
- 問3 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 世阿弥 2. 近松門左衛門 3. 雪舟 4. 観阿弥
- 問4 応仁の乱によって戦地となった京都の様子や、当時の社会への影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 戦乱の影響で京都の公家や僧侶が各地へ避難したが、これによって京都の高度な文化が地方へ伝わるきっかけとなった。 2. 戦いを避けるために人々は京都から離れ、東大寺や興福寺がある奈良が一時的に政治の中心地として栄えた。 3. 戦火によって都の大部分が焼失し、現在も続く祇園祭などの祭礼が数十年にわたり中断される事態となった。 4. 京都の町衆によって大規模な自衛組織が作られたことで、都の全域が戦火から守られ、文化財の被害は免れた。
- 問5 足利義満が明との貿易において、「勘合（勘合符）」と呼ばれる証明書を使用することになった主な目的は何ですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 明から輸入する銅銭や生糸の価格を、あらかじめ一定に固定しておくため 2. 幕府が認めた正式な貿易船と、当時海上で活動していた海賊（倭寇）を区別するため 3. 明の皇帝に対して、日本が対等な立場であることを証明する外交文書とするため 4. 日本国内の有力な大名や寺社が、独自に明と交易を行うことを許可するため
- 問6 1467年に発生し、京都を主な舞台として約11年間続いた「応仁の乱」の背景と、その後の社会に与えた影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 平氏を滅ぼした功績を巡る対立から始まり、東国を拠点とする武士団が初めて中央政権を握る要因となった。 2. 將軍の跡継ぎ問題や守護大名の勢力争いが原因で始まり、幕府の権威が衰退して戦国時代へ移行するきっかけとなった。 3. 執権の座を巡る北条氏一族の内部抗争から始まり、御家人が借金に苦しむ徳政令が出される背景となった。 4. 鎌倉幕府を倒した後の政治方針を巡る対立から始まり、天皇を中心とする建武の新政が崩壊する原因となった。
- 問7 室町幕府の組織構成について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、幕府は京都に本拠を置きながら、東国の武士を直接統制するための独自の機関を設置していました。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 朝廷の監視と西国の統治を目的として、六波羅探題を設置し、北条氏の一族を配属した。 2. 地方の民政と裁判を担わせるため、各国に国司を配置し、土地の管理を行わせた。 3. 東国の支配を安定させるため、鎌倉に鎌倉府を設置し、將軍の親族を長官として派遣した。 4. 將軍の直属軍として、有力な御家人による北面武士を組織し、軍勢力を強化した。
- 問8 室町時代に惣村が発達し、農民たちが強い団結力を持つようになった背景として、当時の村の運営実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 武士が土地を直接支配する地頭請が普及したため、農民は武士の指示に従ってのみ村を運営した。 2. 江戸幕府の五人組制度によって、農民が相互に監視し合いながら年貢を納める仕組みが作られた。 3. 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。 4. 商業の独占権を持つ「座」が村を統治し、農民は商人たちの許可を得て農業を行った。
- 問9 室町幕府の三代將軍である足利義満は、明（中国）との間で正式な国交を結び、貿易を開始しました。この貿易では、文字が記された札を二つに分けた「勘合（かんごう）」と呼ばれる道具が用いられましたが、このような仕組みが導入された背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 日本から輸出される銀や銅の総量を、幕府が正確に管理して独占する必要があったため。 2. 朱印状を持った日本船が東南アジアへ進出することを、明の皇帝が公式に認めたため 3. ポルトガルやスペインの商人が持ち込むキリスト教の布教を、厳しく制限する必要があったため。 4. 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。
- 問10 世界遺産に登録されている「慈照寺の銀閣」があり、かつて室町幕府の8代將軍足利義政によって東山文化が育まれた都道府県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 奈良県 2. 京都府 3. 滋賀県 4. 兵庫県
- 問11 室町幕府の3代將軍である足利義満が行った政策のうち、当時の国際情勢や幕府の経済基盤の確立に関連する出来事として最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. ポルトガル船の来航を許可し、キリスト教の布教を認めることで鉄砲を導入した 2. 明の皇帝から日本国王の称号を得て、勘合を用いて倭寇と区別した貿易を開始した 3. 朝鮮半島に出兵して勢力を拡大しようとしたが、現地軍や明の援軍に阻まれ撤退した 4. 博多や堺の商人を通じて宋から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を促進させた
- 問12 室町時代の中世社会についてまとめられた学習年表において、村の自治が進んだ時期の空欄を埋める組織名を考えます。有力な農民を中心に結成され、「寄り合い」と呼ばれる会議を通じて村のルールを定め、共同体としてのまとまりを強めた自治組織の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 五人組 2. 惣 3. 株仲間 4. 座
- 問13 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、幕府が朝廷の監視と西国の統轄を強化するために京都に設置した役職と、その後の政治の動きとして適切な組み合わせを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 守護・地頭の設置と、源頼朝が全国に支配を広げるために行った平氏の追討 2. 問注所の設置と、北条時宗がモンゴルの襲来に備えて行った異国警固番役の強化 3. 六波羅探題の設置と、鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が行った建武の新政 4. 評定衆の設置と、足利尊氏が光明天皇を擁立して始めた北朝の政治

答え合わせ・解説

問1	答え 2 書院造	室町時代の東山文化において、禅宗の僧侶の居室の造りが武士の生活様式と結びついて生まれました。足利義政が建てた銀閣（慈照寺）の東求堂同仁斎はその代表的な遺構であり、現代の和室の原型として知られています。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。	室町幕府は、足利尊氏が各地の有力武士を「守護」として認めることで成立した組織であり、将軍独裁ではなく守護大名の連合体としての側面を強く持っていました。そのため、中央政治においても特定の有力守護（細川・斯波・畠山）が「管領」を交代で務めることで、有力者同士のバランスを取りながら政治を運営する仕組みが取られていました。
問3	答え 1 世阿弥	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、北山文化の時期に多くの文化人を保護しました。その中で世阿弥は、父の観阿弥とともにそれまでの猿楽（田楽や猿楽などの庶民的な芸能）を洗練された歌舞劇へと発展させ、現代まで続く「能」を完成させました。観阿弥は世阿弥の父、雪舟は室町時代の水墨画家、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者です。
問4	答え 3 戦火によって都の大部分が焼失し、現在も続く祇園祭などの祭礼が数十年にわたり中断される事態となった。	11年にわたる京都での市街戦により、市街地のほとんどが焼け野原となりました。この混乱期には、八坂神社の祇園祭も33年間にわたって中断を余儀なくされました。また、戦火を逃れた公家や僧侶たちが地方の戦国大名を頼って避難したことは、結果として京都の文化が地方へと普及する一助となりましたが、選択肢の「伝わることがなかった」という記述は誤りです。
問5	答え 2 幕府が認めた正式な貿易船と、当時海上で活動していた海賊（倭寇）を区別するため	当時、東アジアの沿岸地域では倭寇と呼ばれる海賊の活動が激しく、明はこれに悩まされていました。そこで明からの要求もあり、義満は「勘合」という割り印のような札を持参した船だけを正式な貿易船として認める仕組みを導入しました。これにより、海賊船による密貿易を排除し、幕府が貿易の利益を独占することが可能になりました。
問6	答え 2 将軍の跡継ぎ問題や守護大名の勢力争いが原因で始まり、幕府の権威が衰退して戦国時代へ移行するきっかけとなった。	応仁の乱は、8代将軍足利義政の継嗣問題に、有力守護大名である細川勝元（東軍）と山名宗全（西軍）の対立が結びついたことで長期化しました。この戦乱によって室町幕府の統治能力は失墜し、各地で実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まり、戦国大名が割拠する時代へと移り変わりました。
問7	答え 3 東国の支配を安定させるため、鎌倉に鎌倉府を設置し、将軍の親族を長官として派遣した。	室町幕府は京都に設置されましたが、かつての幕府所在地であった鎌倉を中心とする関東地方を治めるため、鎌倉府を設けました。初代長官（鎌倉公方）には足利尊氏の子である基氏が就任し、それを補佐する関東管領とともに東国の統治にあたりました。六波羅探題は鎌倉幕府の組織であり、北面武士は上皇の身辺警護にあたった組織です。
問8	答え 3 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。	惣村が発達した大きな要因は、農業生産を維持するために不可欠な「水（灌漑用水）」や、肥料・燃料を得るための山林（入会地）の管理を共同で行う必要があったことです。この共同作業を通じて農民の結束が強まり、個々の農民では太刀打ちできない領主に対しても、村全体として年貢の減免を求めたり、村請（年貢の納入を村全体で請け負うこと）を行ったりする自治能力が備わっていきました。
問9	答え 4 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。	当時、東アジアの沿岸では「倭寇」とと呼ばれる海賊による略奪行為が盛んでした。明は日本に対して倭寇の取り締まりを強く求め、足利義満はこれに応じる形で「日本国王」として明の皇帝に従う形式をとり、日明貿易（勘合貿易）を開始しました。勘合は、明から与えられた証明書を半分に割って双方が保管し、港で照合することで、倭寇などの密貿易船ではないことを証明するために使用されました。
問10	答え 2 京都府	慈照寺（銀閣）は現在の京都市左京区に位置している。室町時代、8代将軍足利義政は政治の表舞台から退いた後、京都の東山に山荘を造営し、そこで簡素で気品のある東山文化が栄えた。奈良県には東大寺や法隆寺、滋賀県には延暦寺（一部）などがあるが、銀閣の所在地ではない。
問11	答え 2 明の皇帝から日本国王の称号を得て、勘合を用いて倭寇と区別した貿易を開始した	足利義満は南北朝の合一を果たして国内を安定させた後、明と国交を結び日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易では「勘合」という合い札を用いることで、正式な貿易船と海賊である倭寇を厳格に区別し、幕府に大きな利益をもたらしました。
問12	答え 2 惣	室町時代になると、農民たちは生産力の向上や自衛の必要性から結束を強め、「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な村落組織を形成しました。この組織では、有力な農民たちが「寄り合い」という会議を開き、村独自の掟（村法）を定めたり、用水路や入会地（山林）の管理を行ったりするなどの自治を行いました。選択肢にある「座」は商工業者の組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代中期以降に公認された商人の組合です。
問13	答え 3 六波羅探題の設置と、鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が行った建武の新政	承久の乱で勝利した鎌倉幕府は、朝廷を監視し、京都や西国の武士を統制するために六波羅探題を設置しました。その後、鎌倉幕府が滅亡すると、後醍醐天皇によって天皇中心の政治を目指す建武の新政が開始されましたが、武士の不満を招き短期間で崩壊しました。